

資料 2

令和6年度 第63回福島県芸術祭主催行事・参加行事について

①重点地区の広域的文化団体が実施する行事

No. 1

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
1	第63回 福島県芸術祭開幕式典 及び開幕行事	福島県芸術祭 相双地区 実行委員会	9月1日(日) (11:00~17:00)	富岡町文化交流センター 学びの森	出演者数 198名 来場者数 500名	「生き継ぐ伝統 未来を照らす文化の芽吹き」をテーマに、相双地区らしい今できる最大限の芸術祭を目指し開催し12団体による演目を披露。また文化団体の発表とともに、復興状況の発信として「相双にぎわいフェス」も開催。

②全県的的文化団体が実施する主催行事

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
2	福島県美術協会 新人展	福島県美術協会	9月15日~ 9月22日	福島テルサ	出品点数 31点 来場者数 331名	県文化センター使用不可のため、会員・会友の参加で新人展を開催。事前に新人展研修会で作品研究。会期中は来場者と出者、美協会員との熱心な交流が行われた。
3	第60回 福島県彫刻会展	福島県彫刻会	11月21日~ 11月28日	梁川美術館	出品点数 30点 来場者数 250名	観覧者は会場が遠方のため少なかったが地元の方が多く来場いただいた。太田良平記念館を借りての催しであり、出品者にとり有意義であり励ましとなった。
4	第52回 福島県写真展	福島県写真連盟	6月29日~ 7月2日	とうほうみんなの文化センター	出品者数 289点 来場者数 1148名	県内最大の写真展。中央より一流写真家、岡本洋子氏を招き公開審査が行われ一般の部・委嘱の部で合わせて48名の入賞者が決定。
5	第78回 福島県合唱コンクール	福島県合唱連盟	8月30日~ 8月31日	けんしん郡山文化センター	出演者数 1778名 来場者数 1470名	中・高・大ユース・一般部門の上位入賞30団体は東北大会へ、大島小・柴宮小は全日本合唱コンクール小学校全国大会に県代表として推薦された。
6	第62回 福島県吹奏楽コンクール	福島県吹奏楽連盟	①7月27日 ~28日 ②8月5日~6日	①いわき芸術文化交流館アリオス ②けんしん郡山文化センター	出演者数 4000名 来場者数 7146名	5支部の地区大会で代表として選出された小・中・高・大学・職場・一般の約120団体が、東北吹奏楽コンクール東北大会の予選大会を兼ねて開催。
7	第56回 福島県三曲連盟演奏会	福島県三曲連盟	11月17日 (12:00~16:00)	相馬市民会館	出演者数 70名 来場者数 150名	各地区より選抜された8団体及び地元から5団体が、古典から現代曲まで13曲を演奏。県内各地より来場者を迎え、好評のうちに終演。
8	第41回 福島県「現代吟詠のつどい」大会	福島県吟詠家協会	10月26日 (10:00~15:30)	迎賓館辰巳屋 (田村市)	出演者数 210名 来場者数 285名	郡山地区を担当に、先人の夢を詠ずと題して安積疎水を讃える「構成吟賛歌」。また会員減少により、5人から3人編成の合吟に切り替え合吟コンクールを復活できた。
9	令和6年度 福島県吟剣詩舞道 第56回大会	福島県吟剣詩舞道 総連盟	10月27日 (9:00~17:00)	須賀川市文化センター	出演者数 800点 来場者数 150名	愛好者800名による成果発表。①青少年の吟詠(高文祭出場者)②少壮吟士コンクール入賞者の模範吟詠③合吟コンクールの競吟及び各流・会の大合吟。
10	令和6年度福島県芸術祭第63回俳句大会	福島県俳句連盟	10月6日 (10:00~15:00)	ホテル丸屋グランデ (南相馬市)	出品点数 1420句 来場者数 72名	作品の公募、選考、選評、表彰。講師に「現代俳句」編集長柳生正名氏を迎え、「人新世と俳句の未来 人間中心主義を越えて」を演題に講演をいただいた。
11	第72回 福島県短歌祭	福島県歌人会	10月13日 (9:30~16:00)	グランパークホテルエクスセル福島恵比寿 (福島市)	出品点数 1408首 来場者数 100名	寄せられた短歌作品を歌誌「かりん」編集委員の米川千嘉子氏が批評、優秀作品を表彰した。ジュニアからも募集を行い優秀作品を表彰し後継者の育成に努めた。
12	福島県芸術祭主催行事第45回詩祭「講演と朗読のつどい」	福島県現代詩人会	10月27日 (9:00~16:00)	いわき市生涯学習プラザ	出演者数 11名 来場者数 53名	第一部 講演 橋浦洋志氏「詩を読むということ」 第二部 6地区の会員による自作詩朗読の集い 第三部 アトラクション イサジ氏の歌唱と演奏
13	第63回福島県芸術祭川柳大会 第37回福島市民川柳大会	福島県川柳連盟		誌上大会	出品者数 94名 来場者数 0名	コロナが平時の5類に変わったが、スタッフ不足と高齢化により、誌上大会となった。投句から熱意が伝わり、川柳を発表する場が継続されたことは喜ばしい。
14	連盟創立60周年記念式典・第60回福島県おかあさん合唱祭	福島県おかあさん合唱連盟	10月13日 (10:00~16:30)	ふくしん夢の音楽堂	出演者数 450名 来場者数 50名	祈念すべき連盟創立60周年記念と第60回合唱祭を行った。式典では、感謝状・表彰状を授与。合唱祭は450名の参加で65周年に向け一歩一歩進んでいきたい。

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
15	第38回ふくしま民謡のつどい2024	福島県民謡連盟	9月8日 (10:00~15:30)	南相馬市鹿島生涯学習センター (さくらホール)	出演者数 211名 来場者数 389名	各支部から選び抜かれた民謡愛好者によって、支部の特色を生かし創意工夫を凝らして披露。オープニング・フェナーレ曲に地元相馬の曲の演出で盛会だった。
16	令和6年度 福島県書作家連盟展	福島県書作家連盟	12月6日~ 12月8日	コラッセふくしま	出品者数 59名 来場者数 180名	県文化センター休館に伴ない会場が変わり、例年の特別展や推薦作家展を開催せず、会員の研究発表のみの展覧会とし、賞をつけず図録制作もできなかった。
17	第63回 福島県書道協会展	福島県書道協会	10月30日審査 会・11月2日授 賞式	誌上展	出品点数 678点 来場者数 0名	県文化センター休館に伴ない誌上展としての開催。作品を7部門に分け裏打ちした678点の作品を審査し、すべての作品を作品集に掲載発表。
18	第49回 福島県観世流 謡曲・仕舞大会	福島県観世流連合会	10月14日 (9:00~16:00)	キョウワグループ テルサホール	出演者数 50名 来場者数 50名	県内6支部のうち4支部の社中会員による成果披露と、古典芸能をの伝統文化の継承を図り開催。大成功裡に終了できた。
19	第40回 福島県声楽協会演奏会	福島県声楽協会	11月2日 (13:30~16:30)	須賀川市文化センター	出演者数 17名 来場者数 188名	40回の節目に、本県出身で日本を代表するオペラ歌手大倉由紀枝氏をお迎えし開催。また指導者としても定評ある氏に、出演者向けのレッスンをいただき多くの学びを得た。
20	第50回 福島県日本画協会展	福島県日本画協会	8月29日~ 9月1日	福島市 花の写真館	出品者数 45名 来場者数 400名	創立50周年記念式典を27日に行い会員の作品展示を行った。記念展に伴い、作品を掲載した記念展記録誌を作成し、会員及び関係機関に配布した。
21	福島オペラ協会 第14回 メンバーズコンサート	福島オペラ協会	10月14日 (14:00~16:00)	ふくしん夢の音楽堂	出演者数 12名 来場者数 76名	祝日と他の公演と重なったことで客足が心配された中での公演。アンケートの結果から、概ね好評とのことで、次につながる内容であったと感じた。
22	第48回 福島県書道連盟展	福島県書道連盟	10月11日~ 10月13日	民報ロイヤルホール	出品点数 1124点 来場者数 925名	県内小中高校、大学短大専修学校及び書塾、書会、一般の作品を公募審査し、県知事賞、最優秀賞などの選抜。作品集も合わせて発行。
23	第36回 福島県篆刻会展	福島県篆刻会	9月13日~ 9月15日	コラッセふくしま	出品者数 39名 来場者数 150名	連日50人前後の来場者があり、実演コーナーには熱心な来場者が順番待ちするほどだった。参考作品として展示の干支の印は、篆刻に興味をもっていただけた。
24	第48回 福島県版画展	福島県版画会	8月21日~ 8月25日	いわき市文化センター	出品者数 48名 来場者数 307名	19年ぶりのいわき地区での開催で、県内各地から出品者が集まり鑑賞しあい活発な交流がなされた。来場者からは「版画に興味を持って感激した」と寄せられた。
25	第23回 しゃくなげ コンサートin福島	福島県ハーモニカ 協会	9月1日 (13:00~16:30)	ふくしん夢の音楽堂	出演者数 102名 来場者数 230名	12団体が参加し、第一部・第二部に分けてアンサンブル24曲、ソロ5曲を演奏し、第三部としてゲストの稲川有徳氏と廣瀬充氏によるミニコンサートを行った。
26	みちのく阿波おどり 2024in郡山	福島阿波おどり協 会	9月21日 (17:30~19:00)	郡山駅前西口広場 なかまち夢通り	出演者数 200名 来場者数 300名	踊りを通じて東北の人々の祭りの輪を広げようという主旨で、県外からも6チームの参加があり小雨の中、流し踊り~総踊りを元気に実施することができた。

③福島県が実施する主催行事

27	FUKUSHIMA NEXT Creators Challenge 2024 会津若松展	福島県	11月9日 ~10日	スマートシティAiCT	出品者数 145名 来場者数 956名	文化芸術の新たな担い手となる中学生・高校生・大学生・専門学校生から、デジタル機器を活用して制作したアート作品を募集し展示。
28	ふるさとの祭り2024	福島県・ふるさとの 祭り実行委員会	10月12日~ 13日	ビックパレットふくしま	出演者数 302名 来場者数 3389名	原発事故による避難などで、民俗芸能の継承が難しくなっている団体や芸能を披露する機会がない団体などに、発表の場を提供。
29	福島県文学賞講演会	福島県・福島民報 社・福島県高等学 校文化連盟文芸専 門部	10月30日	郡山市立中央公民館	出演者数 1名 来場者数 150名	くどうれいん氏を講師に迎えて講演会を行う。